東京都におけるがんの緩和ケア提供体制等の実態調査結果（概要）

資料４

調査概要

◆ **調査の目的**

東京都が策定する「東京都がん対策推進計画」の推進及び緩和ケアの充実に向けて、都内医療機関の緩和ケア提供体制等の実態調査を行い、都における今後の緩和ケアのあり方を検討するための基礎資料とする。

◆ **調査の対象**

病院	在宅療養支援診療所	訪問看護ステーション	薬局
646施設（全数）	1,302施設（全数）	555施設（全数）	3,432施設（※）
平成22年8月現在	平成22年8月現在	平成22年6月現在	平成22年8月現在

※東京都薬局機能情報提供システムで「麻薬の調剤を実施」とした施設

◆ **調査の基準日**　平成22年10月1日　（調査期間　平成22年10月～11月）

◆ **調査方法**　郵送による配布、郵送による回収

◆ **有効配布数及び有効回収率**

	病院	在宅療養支援診療所	訪問看護ステーション	薬局
発送数(A)	646	1,302	555	3,432
回収数(B)	454	591	325	2,712
うち無効回答	1	5	5	9
回収率(B／A)	70.3%	45.4%	58.6%	79.0%

調査結果（緩和ケアに関する医療資源）

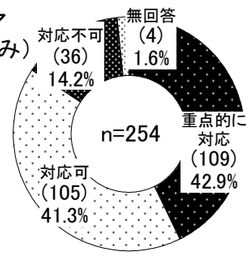
病院

＜基本的な緩和ケアの取組＞（報告書p13）

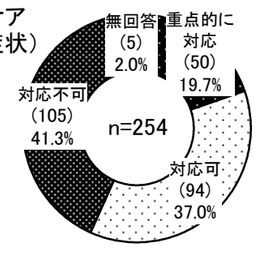
「がんの確定診断及び治療を行っている」と回答のあった254病院のうち、

- 身体的痛みに対応可能・・・約8割
- 精神症状に対応可能・・・約6割

緩和ケア（身体的痛み）

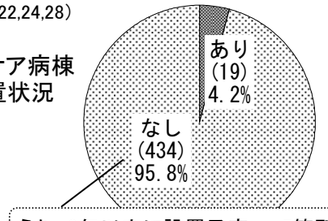


緩和ケア（精神症状）



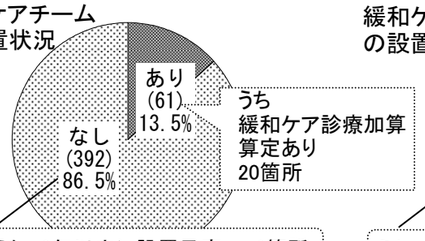
＜専門的な緩和ケアの取組＞（n=453）（報告書p22,24,28）

緩和ケア病棟の設置状況



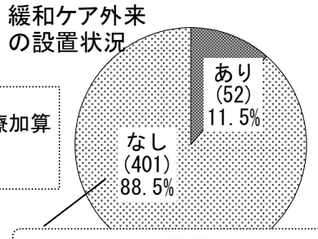
うち、2年以内に設置予定・・・5箇所

緩和ケアチームの設置状況



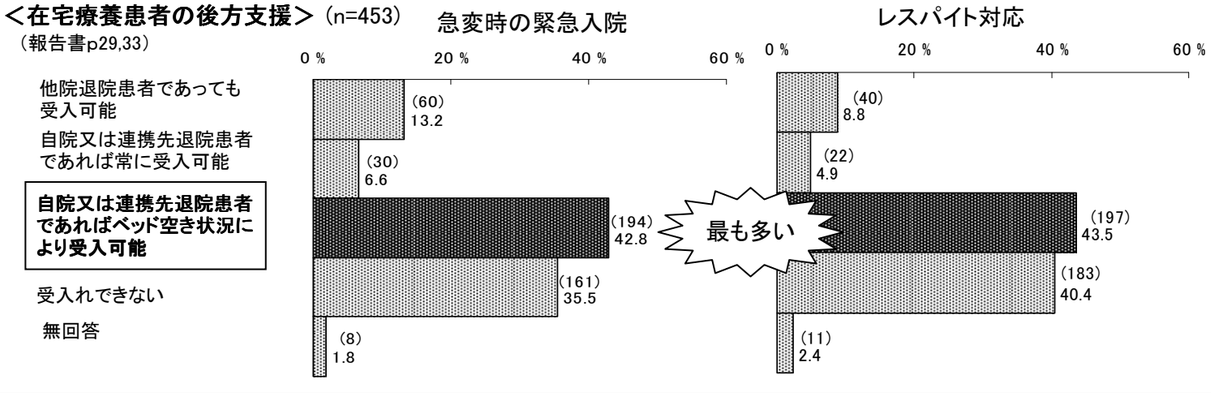
うち、2年以内に設置予定・・・6箇所

緩和ケア外来の設置状況



うち、2年以内に設置予定・・・7箇所

＜在宅療養患者の後方支援＞（n=453）（報告書p29,33）



在宅療養支援診療所

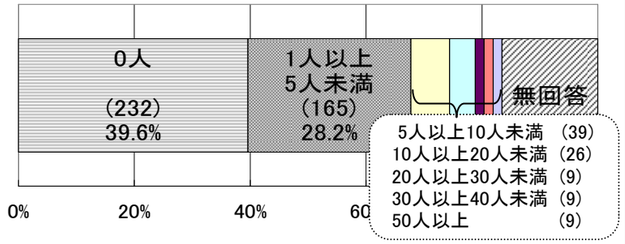
○ 平成21年度1年間で在宅で看取ったがん患者数

「0人」が約4割と最も多く、

「1人以上5人未満」が約3割

（報告書p60）

年間在宅看取りがん患者数（平成21年度）（n=586）



○ 診療所における緩和ケアの研修受入れあり・・・60箇所（約1割）（報告書p63）

○ 平成21年度がん患者退院時カンファレンス参加実績あり・・・136箇所（約2割）（報告書p64）

訪問看護ステーション

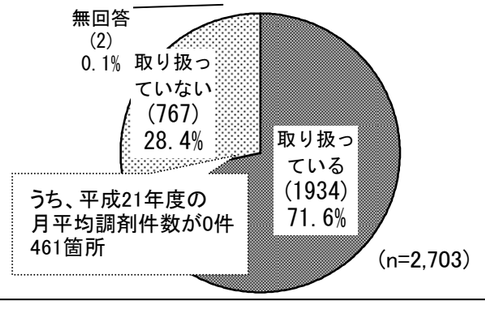
○ 平成21年度1年間で在宅で看取ったがん患者数・・・「0人」は約1割　（報告書p73）

○ 訪問看護ステーションにおける緩和ケアの研修受入れあり・・・75箇所（約2割）（報告書p76）

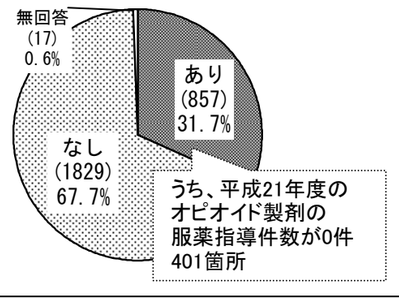
○ 平成21年度がん患者退院時カンファレンス参加実績あり・・・222箇所（約7割）（報告書p76）

薬局

オピオイドの取扱い（報告書p84,85）



訪問服薬指導の実施（報告書p89,90）



※ グラフは上段：（ ）内は回答者数、下段：割合